

WEEKLY NEWS

Vol.54 第2600回例会 2020.12.17

今年度会長テーマ ▶▶▶ 七転び八起き！



公開卓話：昭和病院企業団 企業長兼院長 上西紀夫様

— プログラム —

- ① 点鐘：野村会長
- ② 合唱：ソングリーダー：野澤会員
日も風も星も
- ③ お客様紹介：町田会員
- ④ 会長挨拶・会務報告：野村会長
- ⑤ 幹事報告：鈴木幹事
- ⑥ 出席報告：高野会員
- ⑦ ニコニコボックス：石嶋会員
- ⑧ 公開卓話
会員外13名・入会予定者2名参加
- ⑨ 謝辞・閉会点鐘：野村会長



- 会員数：26名
- 欠席：1名
- 出席率：96.00%
- 出席者：24名
- 3週間前出席率
(修正後)：100%

例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
例会場：八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-25-1

週報作成：クラブ管理委員長 平野 裕明
事務所：〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101
URL：https://hm-rc.org/ h.murayama@eagle.ocn.ne.jp
facebook：https://www.facebook.com/HigashimurayamaRC/
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166



会長：野村高章
副会長：岩原隆
幹事：鈴木龍雄
副幹事：平野裕明

③お客様紹介

當麻会員

入会予定者

株式会社三光商会
専務取締役 北野雄二様



入会予定者

NPO法人すくすくはあと
代表理事 土崎幸恵様



昭和病院企業団 企業長兼院長 上西紀夫様
昭和病院企業団 事務局 総務課長 野口尚巳様

④会長挨拶・会務報告

野村会長

わたく達は奉仕をするという志をもった経営者の団体です。しかしなかなか外部にその活動が伝わらないのが現状です。この機会に様々な人にわたくし達を理解してもらえればと思います。

- ・2021-22年度地区大会について
第1日目4/7(水)RI会長代理晩餐会
第2日目4/8(木)本会議のみ
記念講演：東京都知事 小池百合子氏
登録人数：コロナを鑑み会長・幹事・地区役員を除く各クラブ正会員の15%相当人数
事務局派遣：ガバナー補佐所属クラブのみ
登録料：会員10,000円 晩餐会20,000円

⑤幹事報告

鈴木幹事

- ・第3回地区クラブ運営支援委員会 2/9(火)15:00 @ガバナー事務所 対面、オンライン併用
- ・第33回全国RAC研修会本登録の案内について 3/13(土)13:00オンライン
- ・2020-21年度多摩分区分I・Mについてのお願い 「新型コロナウイルス感染拡大の中で奉仕活動をしている方々に光を当てる」 1つの対象に5万円程度
選出基準「このコロナ禍で活動している奉仕者・団体を対象に」
- ・令和2年度東村山市いのちとこころの教育週間「第24回市民の集い」開催に伴う後援名義の使用 1/24(日)13:00@東村山市立中央公民館ホール [閲覧]
コーディネーターニュース1月号
ハイライトよねやま

⑦ニコニコBOX

石嶋会員



- ◆野村会長・鈴木幹事：本日は、2600回目の例会です。上西先生をはじめたくさんの方にお集まり頂きました。例会を楽しんでください。皆さん体調には気を付けて過ごしていきましょう。
- ◆北久保会員：今回は節目の第

2600回例会です。先人の方々に感謝です。本日の卓話上西先生よろしくお願ひいたします。たくさんのお客様ご来訪ありがとうございます。

- ◆野澤会員：ご多忙の折、この時期に上西先生のお話を聞けることはラッキーです。楽しみにしております。北野様、土崎様、ようこそ。

- ◆戸澤会員：上西先生ようこそ。甥が小児科の医師、妻が血液内科でお世話になっております。今日の卓話を楽しみにしています。
- ◆小町会員：入会予定者の北野様、土崎様、久米川まちづくり研究でもお世話になってます。上西先生の卓話を生活に活かしてください。
- ◆赤木会員：上西先生、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
- ◆平野会員：相羽さん、昨晚はおいしいウイスキーありがとうございました。

合計：19,000円 累計：670,710円

⑧公開卓話

■卓話者紹介：赤木会員

■卓話者：昭和病院企業団 企業長兼院長 上西紀夫様



昭和病院は、新型コロナウイルスに対応する任務を担っている病院になります。現在485床の高度で救急率の高い病院です。[新型コロナウイルスとは?]

多くのコロナウイルスのうち7種類が感染し病気を引き起こします。
3種類…軽症化風邪
4種類…重症化の可能性



発熱患者の陽性率は7.82%です。当病院では、まずはテント外来(内科担当)更に、院内(外科担当)で、内科と外科でタックをくんでコロナに取り組んでいます。現在20数名の入院患者で高齢者が増えてきています。初期の入院患者の平均年齢は約65歳、現在は平均約75歳です。高齢者は大変看護力を必要とします。それだけ病院には負担がかかってきます。入院患者の、75%が軽症、25%が重症者です。ここまで4名が死亡いたしました。肺炎が重症化してしまうと助かりません。助かったとしてもリハビリなど退院には半年ほどかかり、病院、患者とも大変な負担になります。そしてクラスターが起きないために、入院患者には、全員検温とPCR検査を実施しています。コロナ専門病院にしてしまうという意見もごございますが、昭和病院では、癌、脳卒中、心筋梗塞など診療が多数ありますので、中等症以上の患者をきっちり対応し、通常の業務を疎かにしないというスタンスで望んでいます。

⑨謝辞・閉会点鐘：野村会長